

【新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うバレーボール大会運営ガイドライン】

北九州市バレーボール協会

※ 【感染しない・させない】の観点から、参加者の皆様もアルコール除菌剤等の準備をして大会再開に力を合わせましょう。**冬季大会であっても場内換気の為に冷気が入りますので十分な防寒対策を願います。**

	項 目	注 意 事 項	
バレーボール 競技	入館時の 心得 準備	①受付時検温・手指消毒	役員による検温(参加申込書所定欄に記入・37.5℃以上は退館)、手指消毒を実施し入館。
		②マスク着用・手洗いの実践	館内ではマスク着用、手洗いの実施。ハンカチ・タオルにてふき取り手指消毒。
		③ソーシャルディスタンス	入館後は「人と人との間隔2メートル以上取る」事を心掛ける。
		④大声での会話はしない	飛沫感染防止。
		⑤観覧席での応援者	応援者は入館時、応援チーム名・氏名を別途記帳。(①～④までの事項を遵守の事。)
		⑥手指などで接触する物	器具・テーブル・椅子等については役員が定期的に消毒をするがチームも協力を。
		⑦代表者会議	代表者各1名。ステージ・フロアなどの広い場所にて3密をさけて実施。
協会役員 定期的に館内を巡回。 マスクは着しているか。 観覧席は密になってい ないか。注意・指導を 行う。 多数が触れるドア取手 (トイレを含む)などの 消毒を行う。	試 合 中	①試合開始・終了時の挨拶	エンドライン上に並び主審の合図で1礼のみ。
		②マスク着用	競技者以外(ベンチスタッフ・控え選手)は必ずマスク着用の事。
		③大きな声を出さない	飛沫防止のため選手個々との距離を出来る限り取る。
		④選手同士のタッチ	ゼスチャー等で済まし、タッチなどの接触はしない。
		⑤手指の殺菌消毒タイム	セット間12点で手指のアルコール消毒実施(アルコールは協会準備する・ポンプ式2個)
		⑥タイムアウト・セット間等	ソーシャルディスタンスを取り、可能な限り選手との密を避ける。
		⑦チーム責任者	チーム責任者は(ベンチ含む)大会終了時まで選手の管理、指導を行う。
		⑧主審・副審 (マスク着用)	笛の代用として電子ホイッスルを使用。(協会準備)
		⑨試合終了時	速やかにコート(フロア)から離れ手洗い・手指消毒実行、観覧席では密を避ける。
感染者発生の場合 参加チーム代表者経由 で 所属選手に連絡を行 い、 処置・対応を指導する。	終 了 後	①コート等清掃について	コートモップ(消毒液殺菌)にて清掃・ベンチを(タオルで消毒液殺菌)清掃する。
		②閉会式は行わない	賞状等授与はチーム主将(必要人員)のみで実施、他は退場する。
		③終了後	速やかに退館、自宅に帰りシャワー等を実施し、清潔にする。
チーム代表者は大会終了後、所属選手に発症が確認された場合は速やかに参加申し込み先担当者へ連絡の事。			